

各種割引乗車券等の抜本的な見直し（案）について

交通局では、平成31年3月に策定した「京都市交通局市バス・地下鉄事業経営ビジョン」でお示ししているとおおり、市バスの一人当たり乗車運賃が他都市に比べて低いこと、御利用の頻度にかかわらず全国10種類のICカードで乗継割引を適用していること、トラフィカ京カード等の磁気カードの市場が縮小していること、移動経路の分散化が必要であることなどの諸課題に対応するため、各種割引乗車券等の抜本の見直しを進めてきました。

この度、新型コロナウイルス感染症の経営に与える影響も踏まえ、具体案を取りまとめましたので、御報告いたします。

《見直しの方針》

- ・平成12年当時は700円で発売し、当面の間600円としている「バス一日券」等の企画乗車券を点検し、**価格適正化**を実施
- ・運賃割引については、誰もが利用できるものから**市民を中心とした利用頻度の高い方を優遇する制度への転換**
- ・混雑対策（三密対策）として、移動経路の分散化を図るため、**将来的なバス・バス無料乗継を目指し、乗継割引を軸とした割引制度へ転換**
- ・コストが増加傾向にある磁気カードを縮小し、スムーズな乗降と将来のデータ活用が期待できるICカードの利用促進を図るため、**割引適用をICカード利用時に集約**

1 各種割引乗車券等の抜本の見直しの内容

(1) 企画乗車券の価格適正化

ア 概要

当面の間600円としている「バス一日券」をはじめとした各種一日（二日）券について、価格適正化を行います。

乗車券名	現行価格		新価格	備考
バス一日券	600円 (300円)	➔	700円 (350円)	平成12年当時の価格は700円
地下鉄・バス一日券	900円 (450円)		1,100円 (550円)	平成30年当時の価格は1,300円
地下鉄・バス二日券	1,700円 (850円)		廃止	磁気カードの縮小方針により廃止
地下鉄一日券	600円 (300円)		800円 (400円)	5区(360円)の往復より安価であることを是正
京都修学旅行1dayチケット	700円		適正価格900円のところ、 当面800円	上段の価格が適正と考えていますが、修学旅行誘致の観点から、当面の間、
京都修学旅行1dayチケット 【京阪電車拡大版】	1,000円		適正価格1,200円のところ、 当面1,100円	下段の価格で発売

※ 価格の上段は大人、下段（ ）は小児

イ 実施時期

令和3年10月1日

(2) 各種割引乗車券等からポイントサービスへの転換

ア 概要

(ポイントサービスの導入)

- ・ 市民の方が多く利用されているICカード「ICOCA」、「PiTaPa」限定で、市バス、京都バス、地下鉄の御利用を対象として、条件を満たした方にポイントを還元する登録型のポイントサービスを導入します。
- ・ 還元されたポイントについては、「ICOCA」の場合、電子マネーとしてチャージしていただくことにより、交通利用のほか、店舗でお買い物の際にも御利用いただけます。

また、「PiTaPa」の場合、御利用金額の引き落としの際に、ポイント分を差し引いた額が引き落とされます。

(各種割引乗車券等の廃止)

- ・ ポイントサービスの導入に伴い、トラフィカ京カード、昼間回数券、全国10種類のICカードによる乗継割引、PiTaPaの利用額割引及び市バス又は京都バスと地下鉄の連絡普通券を廃止します。

なお、京阪バス、京阪京都交通と地下鉄の連絡普通券は継続します。

イ 実施時期

令和5年4月1日

※ただし、トラフィカ京カード及び昼間回数券は、廃止(利用停止)に先立ち、令和3年10月から発売を停止します。

別紙1：各種割引乗車券等からポイントサービスへの転換に係る制度の詳細

別紙2：ポイントサービスの利用方法

別紙3：ポイントサービスの利用例

2 見直しに係る全体スケジュール

別紙4を参照

3 概算費用(税込)

令和3年度	令和4年度	合計
110百万円	650百万円 (うち債務負担450百万円)	760百万円



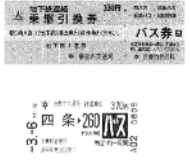
- ・ バス運賃箱改修，駅務機器改修，ポイントシステムの構築等に要する費用です。
- ・ 令和3年及び令和4年2月市会に提案し，御審議いただく予定です。

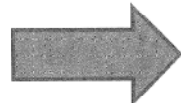
4 周知方法等

各種割引乗車券等の抜本的見直しの取組内容については、お客様に御理解いただけるよう、市民しんぶんや京都市交通局経営レポートのほか、バス・地下鉄車内及び駅構内のポスター等、様々な媒体を活用し、丁寧に周知してまいります。

また、ポイントサービスの御利用に当たっては、スマートフォンやパソコン等を用いて登録していただく必要があることから、機器に不慣れな方やお持ちでない方にもスムーズに御利用いただける取組も検討してまいります。

各種割引乗車券等からポイントサービスへの転換に係る制度の詳細

見直しを行う各種割引乗車券等		
<p>トラフィカ京カード</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 発売額 <ul style="list-style-type: none"> 1,000円 (1,100円分利用可能) 3,000円 (3,300円分利用可能) 乗継割引額 <ul style="list-style-type: none"> バス⇄バス (90分以内) バス⇄地下鉄 (当日中) とともに120円割引 	<p>R 3. 1 0 発売停止 ・ R 5. 4 利用停止</p>
<p>昼間回数券※1 (バス, 地下鉄)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 月曜～土曜 (日祝除く) の10時～16時の間に利用可能 バス昼間回数券は市内6事業者 (市バス, 京都バス, 阪急バス, 京阪バス, 京阪京都交通, JRバス) で均一運賃区間内のみ共通利用可能 発売額 <ul style="list-style-type: none"> 【バス】2,300円 (230円×12枚) 1,200円 (120円×12枚) 【地下鉄】2,200円 (220円×12枚) …1区の場合 	
<p>ICカードによる 乗継割引</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全国相互利用可能な10種のICカードで適用 乗継割引額 <ul style="list-style-type: none"> バス⇄バス (90分以内) で90円割引 バス⇄地下鉄 (当日中) で60円割引 	<p>R 5. 4 各種割引乗車券を ポイントサービス へ集約・移行</p>
<p>PiTaPa の利用額割引</p>	<ul style="list-style-type: none"> PiTaPa 月額利用額を約9%割引 (3,000円以上の利用者を対象) 	
<p>バス・地下鉄 連絡普通券</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 市バス, 京都バスと地下鉄の連絡券※2 発売額 <ul style="list-style-type: none"> 330円 (地下鉄1区の場合) 乗継割引額 <ul style="list-style-type: none"> 120円 (トラフィカ京カードと同等) 	



ポイントサービスの導入
《対象IC：ICOCA, PiTaPa》

乗継ポイント

バスとバス、バスと地下鉄を乗継利用されている方は週1回の往復利用で、乗継利用のない方は週2回の往復利用で対象となります。

月額3,600円以上の利用者の乗継に対して、次のとおりポイントを還元します。

- バス⇄バス 150円分のポイント還元 (注)
- バス⇄地下鉄 120円分のポイント還元

※乗継はどちらも90分以内を対象
※1日2回までに限る。

(注) 将来的には150円から230円に引き上げ、実質バス・バス無料乗継の実現を目指します。なお、交通局の経営に与える影響が大きいことから、実施時期は慎重に判断してまいります。

利用額ポイント

1箇月間の御利用金額に対してポイントを還元します。御利用金額に応じて段階的に還元率を上げることで、御利用の多い方に、より多くのポイントを還元できるようにしています。

月の御利用額	ポイント還元率
3,000円以上 5,000円未満	1% (30P～49P)
5,000円以上 8,000円未満	2% (100P～159P)
8,000円以上	3% (240P～)

**バスIC24Hチケット
(ポイント還元型)**

事前に登録した日の御利用金額のうち、設定額 (700円) を超過したバス利用分について、ポイント還元することで実質バス一日券を実現します。

また、24時間制を導入することで、既存の一日券よりも利便性を向上したものとします。

【設定額】700円
※登録日のバス利用については、他のポイントサービスの対象外となります。
※磁気の「バス一日券」は継続します。

※1 全日利用可能な普通回数券は、市内9事業者の全てのバスに乗車できるシームレスな乗車券であるため継続します。
 ※2 京阪バス、京阪京都交通と地下鉄の連絡普通券は、現時点では連携してポイントサービスへ移行する要件が整っていないため継続します。引き続き、ポイントサービスへの移行について検討を行ってまいります。

・小児用の「ICOCA」「PiTaPa」には半額分のポイントを適用します。
 ・ポイントの有効期間は、還元の翌月から1年間です。
 ・ポイントサービスは市バス・地下鉄と京都バスが対象となります。

ポイントサービスの利用方法

① 「ICOCA」、 「PiTaPa」 の登録



○お客様の「ICOCA」、「PiTaPa」を駅の券売機又はスマートフォンやパソコン等を用い、Web から登録していただけます。

② 市バス (京都バス) ・地下鉄の利用



○登録いただいた「ICOCA」、「PiTaPa」で、いつもと同じようにバス、地下鉄を御利用ください。

- ICOCA** 「ICOCA」は事前チャージですので、通常運賃を引き去ります。
- PiTaPa** 「PiTaPa」は後払いですので、通常運賃での御利用を計上します。

③ ポイント還元

○1箇月間の御利用状況に応じて、3種類のポイントを翌月に還元します。

・乗継ポイント

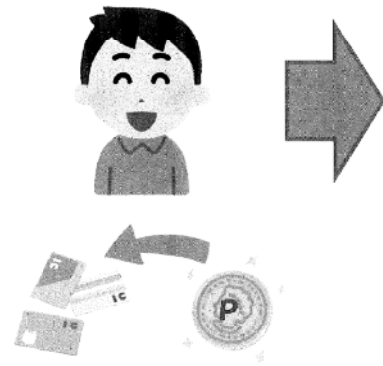
- 月額 3,600 円以上の利用者の乗継に対してポイント還元
- ・バス⇄バス 150 円分のポイント
 - ・バス⇄地下鉄 120 円分のポイント

・利用額ポイント

- 3,000 円以上の利用で段階的にポイント還元
- ・3,000 円以上～5,000 円未満 1% (30P～49P)
 - ・5,000 円以上～8,000 円未満 2% (100P～159P)
 - ・8,000 円以上～ 3% (240P～)

・バス IC 24 H チケット (ポイント還元型)

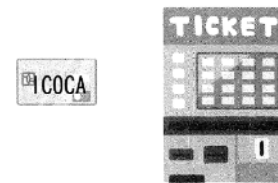
- 事前に利用日を登録していただけます。
登録された日にバスを利用すると、700 円以上の利用額をポイントとして還元



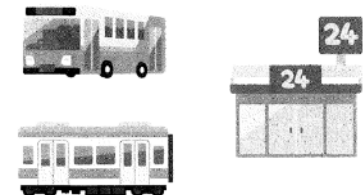
④ ポイントの利用

○「ICOCA」の場合、地下鉄各駅の券売機等でカードにポイントをチャージしてください。
チャージしたポイントは電子マネーとして、バス、地下鉄のほか、コンビニ等でも御利用できます。

<チャージ>

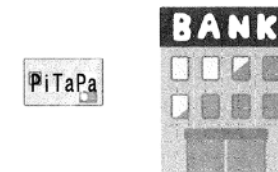


<電子マネーの御利用>



○「PiTaPa」の場合、利用金額からポイント分を差し引いた額が登録口座から引き落とされます。

<自動精算>



(例) 利用金額 5,000 円、バス・バス乗継 1 回御利用の場合
還元されるポイントは

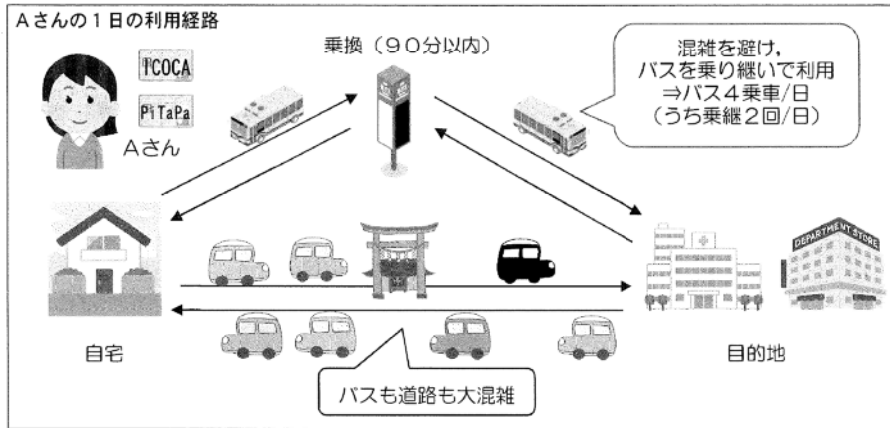
- ・乗継ポイント 150 ポイント
- ・利用額ポイント 100 ポイント

ポイントを差し引いた
4,750 円が引き落とされます。

御利用金額 5,000 円	
4,750 円	引き落とし額
250 円	ポイント分 (割引額)

ポイントサービスの利用例

1 乗継ポイントと利用額ポイント



ケース1 ・月の利用額が3,600円未満

Aさんが月3回外出し2,760円利用した場合 (230円×4乗車/日×3回/月)



- × 乗継ポイント なし
- × 利用額ポイント なし

ケース2 ・月の利用額が3,600円以上

Aさんが月4回外出し3,680円利用した場合 (230円×4乗車/日×4回/月)



$150P \times 8 = 1,200P$
 $3,680円 \times 1\% = 36P$
合計 1,236P

※乗継利用のないお客様でも月額3,000円以上の御利用があれば、利用額ポイントは還元されます。

2 バスIC24Hチケット (ポイント還元型)

① Web (スマートフォンやPC) から「バスIC24Hチケット」の利用日を登録



② 登録した利用日に市バスを利用

バス利用時にICをタッチすると一旦通常どおりの運賃が引かれます。
<バスを6回利用した場合は1,380円 (230円×6回) が一旦引かれます。>



チケットは24時間有効
例えば、
土曜の15:00から
翌日曜の14:59までが対象

③ 翌月に、バスIC24Hチケットの金額 (700円) を超えた金額分がポイントで還元



バスを6回利用した場合
680ポイントを還元
(1,380円 - 700円)

一日の利用金額 1,380円 (230円×6回)	<table border="1"> <tr> <td>680円</td> <td rowspan="2">翌月に680Pを還元</td> </tr> <tr> <td>700円</td> </tr> </table>	680円	翌月に680Pを還元	700円
680円	翌月に680Pを還元			
700円				

各種割引乗車券等の抜本的な見直しに係る全体スケジュール

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
制度等	<p>○3月 高雄地域への均一運賃区間拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・均一運賃適用 (230円) ・西日本ジェイアールバスとの共通IC定期券の範囲拡大 ・西日本ジェイアールバスとのバス一日券、地下鉄・バス一日券の共通化 <p>○2月市会で予算審議</p> <p>A B C</p>	<p>A ○10月 企画乗車券の価格適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス一日券 (600円→700円) ・地下鉄・バス一日券 (900円→1,100円) ・地下鉄・バス二日券 (1,700円→廃止) ・地下鉄一日券 (600円→800円) ・京都修学旅行1dayチケット (700円→800円) ・京都修学旅行1dayチケット【京阪電車拡大版】 (1,000円→1,100円) <p>B ○10月 割引乗車券の発売停止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラフィカ京カード ・昼間回数券 <p>○2月市会で予算審議</p> <p>D E</p>	<p>C ○4月 ポイントサービスの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗継ポイント (3,600円以上) <ul style="list-style-type: none"> バス・バス乗継 150円 バス・地下乗継 120円 ・利用額ポイント <ul style="list-style-type: none"> 3,000円以上 1~3% ・バスIC24Hチケット (ポイント還元型) 700円 <p>将来的には230円に引き上げ、実質バス・バス無料乗継を目指します。</p> <p>D ○4月 割引乗車券の利用停止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラフィカ京カード ・昼間回数券 <p>E ○4月 割引乗車券の廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス・地下鉄連絡券 (京阪バス・京阪京都交通を除く) ・ICカードによる乗継割引 ・PiTaPaの利用額割引 	
システム改修等		<p>A →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗車券発行機、バス運賃箱、改札機の改修 <p>B →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・券売機の改修 <p>C →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントサーバ・Webサーバ構築、運賃収入システム改修、券売機、処理端末機等の改修 	<p>D →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス運賃箱、改札機の改修 <p>E →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運賃収入システム、バス運賃箱の改修 	